

岡田工業株式会社様

外調機で大風量ドライエアーを供給 場内温度42℃の過酷な環境を改善

日本屈指の温間鍛造技術が生み出す
等速ボールジョイント

創業80余年の岡田工業株式会社様は、国内生産自動車に搭載される等速ボールジョイントの30~40%以上もの量を製造されているものづくり企業です。

等速ボールジョイントは、タイヤの手前に取付けられ、エンジンやモーターからの回転を等速でタイヤに伝える役割を持ちます。自動車の「走る・曲がる・止まる」という基本的な性能に関わる重要保安部品です。

鍛造は金属を熱して大きなプレスで打ち、形をつくる温間鍛造をメインにおこなわれています。削り出し加工と比べ鉄くずが少ない上、強度も高く、短時間で生産することが可能です。また、工程内で冷間鍛造と呼ばれる常温での鍛造をおこなうことで、表面性状が良く、美しい製品が生み出されています。高い技術力により精度のばらつきを最小限にとどめているため、冷間鍛造での寸法公差はわずか0.01mm台です。生産スケジュール管理や、細かい精度チェック、働く人のコミュニケーションと切磋琢磨により、高品質な製品を効率的に生産されています。

ものづくりで社会貢献される一方で、清掃活動や交通安全立哨等、地域社会に貢献する取り組みも積極的におこなわれています。長年にわたる消防や交通安全への協力が認められ、2022年1月に名古屋市より、2021年9月には愛知県警察より感謝状を授与されています。

従業員の労働環境改善を目指して

熱した金属を打つ工場内は夏場42℃にもなり、過酷な環境になることもありました。良い製品を世に届けられるのも、従業員の健康と幸せがあってこそ。働く作業者の労働環境を改善したいという、浅田社長の熱い思いから空調設備の導入検討へと至りました。



年間約900万个製造されている等速ボールジョイント



熱した金属を加工している様子

USER PROFILE

愛知県名古屋市
岡田工業株式会社様

施工:株式会社ケイデン

納入製品
空冷HP式立形ルーフトップ外調機

納入年度
2021年5月(2022年7月取材)



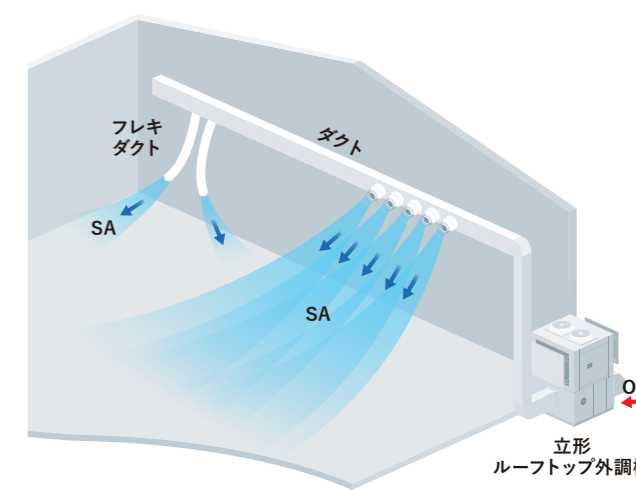
代表取締役社長 浅田 牧翁様
銅像は創業メンバーである 浅田磯弼氏(現社長の曾祖父)



一体形で省スペース設置 ダクトを通じて工場内の隅々まで新鮮外気を供給



室内機・室外機一体、縦型で省スペース



ダクトを延長した局所空調も可能

新鮮な外気導入による効果

製品製造部門長の北澤様にお話を伺いました。

INTERVIEWEE

岡田工業株式会社
北澤様



北澤部門長 外調機導入前はスポットクーラーを使っていました。作業の度に運ぶ手間があり、またピット作業時にはスポットクーラーを置くことすらできない状況で、とにかく暑かったです。

外調機を導入してからは、操作容易な空調となり、風量・風速・冷風感に満足しています。また、ピット内作業エリアに新鮮外気を導入することにより、酸欠防止にも効果があり作業環境が改善されました。

除湿空気を大風量で工場内へ供給

広い工場の空調には、大風量ドライエアーが効果的です。様々な方式検討をされた結果、除湿性能が高く省エネ性にも優れた立形ルーフトップ外調機の導入提案をご採用いただきました。作業される方の直上からの吹出しによって、大風量・除湿空気による冷感を十分に感じていただいています。



ダクトを通じて工場内の隅々まで冷風を供給